



特集

ヨイヨイ、ヨイヤサ 市民とともに 第60回おはら祭



1949(昭和24)年11月15日に市制施行60周年を記念して始まった「おはら祭」が、今年60回目を迎えました。

おはら祭の歴史を振り返るとともに、60回記念の祭の様子を紹介します。

おはら祭 ヒストリー

■おはら祭 誕生

1949(昭和24)年11月15日。市制施行60周年を記念して、第1回おはら祭が開催されました。祭りの呼びものは広告仮装行列と芸能大会など。トラックの荷台に演劇隊を乗せた「移動演劇隊」が多くの人々を沸かせました。

翌1950(昭和25)年は伊敷・東

桜島村との合併記念。1952(昭和27)年には西郷隆盛没後75周年祭と合わせて開催され、この年から「おはら節」の踊りパレードが始まりました。途中、台風で中止したり、「おいどん祭」に名称が変更になったりしましたが、戦後の復興の中で、おはら祭の歩みが止まることはありませんでした。

■踊り連方式を取り入れ、成長

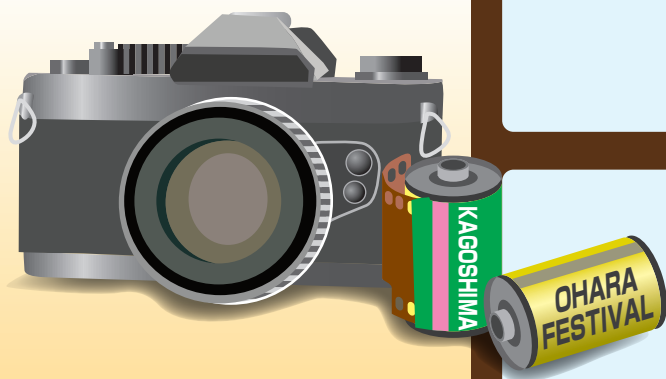
高度成長期を迎えて、おはら祭が大きく変わったのが、1961(昭和36)年。徳島県の阿波踊りを参考に今日の「踊り連方式」を取り入れ、鹿児島駅と西鹿児島駅(現・鹿児島中央駅)から照国神社へ向けて練り踊りました。町内会やあいご会、職場からの参加者が増え、1963(昭和38)年に新しく「鹿児島ハンヤ節」も仲間入りし、踊り参加者は2900人となりました。そして、1973(昭和48)年に初めて、高見馬場、朝日通りを歩行者天国とし、沿道の観衆と踊り手が一緒に楽しめる祭として、にぎわいました。

■国際化・多様化するおはら祭

本市が50万人都市となった、1980(昭和55)年、踊り参加者は1万5千人を超えました。1982(昭和57)年の中国長沙市友好都市締結記念の友好代表団が来鹿したのを皮切りに、ユアラ歓迎記念、マイアミ市姉妹都市盟約記念と、国際色豊かな祭が続きました。



1963(昭和38)年 西鹿児島駅(現・鹿児島中央駅)をスタートする踊り連



特集 ヨイヨイ、ヨイヤサ 市民とともに 第60回おはら祭



2010(平成22)年 ヤング踊り連の登場から10年



2001(平成13)年 第50回記念おはら祭



1998(平成10)年 第1回渋谷・鹿児島おはら祭



1980(昭和55)年 50万都市誕生記念おはら祭



踊りパレードが始まった間もないころ(昭和28年撮影) 芳賀 日向氏撮影

1998(平成10)年からは、東京渋谷道玄坂を会場に、渋谷・鹿児島おはら祭が始まり、新たに「TOKYOオハラ」と「渋谷音頭」の踊りが加わりました。また、新たな祭の顔となる若者を中心とした「ヤング踊り連」が登場したのは2000(平成12)年。

50回記念となった2001(平成13)年は、姉妹都市・友好都市の訪問団が参加して、21世紀の始まりにふさわしい、華々しい幕開けとなりました。

そして、今年還暦となる節目の60回を迎えました。



1973(昭和48)年 初めて歩行者天国で開催



交通規制開始 9:30

交通規制がスタート。市役所からいづろ、高見馬場まで車両の出入りが制限されます。

2日から降っていた桜島の灰をロードスイパーが大掃除。3日は6時30分から活動しました。

の下の力持ち



おつかれさまでした



交通規制解除 17:30

踊り手2万人、観衆25万人で盛り上がった天文館も交通規制の解除で、いつもの街並みに戻って行きました。



撤収作業開始 17:00

特集 ヨイヨイ、ヨイヤサ 市民とともに 第60回おはら祭



本部の設営
9:45

職員が準備を開始。本部席は人力で、^{しかた}地方席はトラックに運ばれてやってきました。



本部の設営完了
10:10



おはら祭 緑



焼酎・麦茶コーナーは休憩のたびに人が押し寄せます



司会席では手話通訳も行っています



地方の皆さんが演奏中も確認できるように、小さなポンパチでお知らせ



観光案内





まつり交流で県外から来た親善大使などがパレード



鹿児島中央駅前アミュ広場でもおはら節が披露されました

特集 ヨイヨイ、ヨイヤサ 市民とともに 第60回おはら祭

2万人が踊る



夜まつりでは第7代かごしま親善大使任命式も行われました



勇壮で激しく踊る、西上の太鼓踊り

おはら祭 振り付け講習会



参加者からの声

たき ぎく 瀧間 恵梨さん (22歳)

社会人1年目で、勤務先の踊り連でおはら祭に参加しました。小学生のときに町内会で参加したとき以来、久しぶりの参加でしたが、すっかり踊りを忘れていました。

3時間みっちり先生に教えていただき、だんだん踊りを思い出しました。困ったときは、近くにいる人たちがとても丁寧に手取り足取り教えてくれるので、初心者の人でも覚えやすいと思います。来年は、今回習ったことを後輩に教えながら、おはら祭にまた参加したいと思います。



親子3代

おはら祭に参加

これまで町内会やあいご会で参加し、今年で35年目になります。名山町町内会の参加者は昔から一緒に踊っている人たちが多く、ご近所同士とても仲が良いことが踊りのそろそろ秘けつだと思えます。

息子夫婦と孫まで合わせて、今年も親子3代で参加しました。家族そろって参加できることがなによりうれしいです。町内会の若い人たちも一緒にまた来年も参加したいですね。



名山町町内会 石山 堯子さん (68歳)

